



ママが単身赴任で
パパが頑張っていて
エライわね！

あのお父さん、子供の
お弁当作るんだって！
イクメンだね！！

保育士さんなの？
いいお母さんに
なりそうだよね！

「誉め言葉のつもりで」
「励ますつもりで」
「アドバイスのつもりで」
伝えたことが、思いもよらず
相手を傷つけてしまった、と
いうことはありませんか？
もしくは、相手がなんとなく
言った言葉で、あなたが傷つ
いたことはありませんか？

「良かれと思って言葉」ってなんだろう？

長い社会生活の中で思考に刻み込まれた固定観念が、無意識に差別につながる言動を誘発する現象をアンコンシャス・バイアス(無意識の偏見)と言います。性別に関する例をあげましたが、本人に悪気がなく、無意識の言動であるがゆえ、防ぐことが難しいものです。

たとえば、女性は「守られる弱い存在」であると思い込んでいる人にとっては、

- 「女性に 重い荷物を持たせるなんて…」
- 「電球の交換や修繕は男性がやるもの…」
- 「男性は 一家の大黒柱で家族を守る責任がある」

と良かれと思って 言っているのではないのでしょうか。その通りと思う人もいますし、そうではないと思う人もいます。性別でひとくくりにはできないのです。



あいパルではこのような言葉を「良かれと思って言葉」と名付け、意識を変えるきっかけになるよう取り上げていきます。

そこで、普段、話している言葉から、男女共同参画の問題を発見したいと思います。みんなの「良かれと思って言葉」を集めて、紹介して、一緒に考えていきましょう！

何気なく使っている言葉でも、相手を傷つけてしまうことがあります。

その人にとっての当たり前が言葉になって現れた時に、誰かを傷つけることがないようにしたいものです。性別に関わりなく、誰もが自分らしく生きられる「男女共同参画社会」の実現のために、ふさわしくない言葉、違和感があり戸惑ってしまう言葉について、改めてみんなで考えてみましょう。

ミニコミ誌「PALDISE」で掲載している男女共同参画コラムから

男女共同参画コラム vol.6「言葉について考える」より

「働く女性」って何て呼んだらいいの！？

「PALDISE」2021年7月号掲載



例えば、ごく一般に使われている「サラリーマン」。直訳すると「賃金労働者」ですが、女性も働いているのに「マン」と疑問が浮かびます。女性に対しては「OL」「キャリアウーマン」という言葉も存在しますが、どんな名称が適切なのでしょうか？

「働く女性」を表現する言葉も、時代の変化と共に、様々な呼び方が使われては消えていきました。では、現代の「働く女性」を何と呼べばいいのでしょうか？一般的には「キャリアウーマン」という言葉が使われることが多いようですが、バリバリ働いて、キャリアを積んで上を目指すとイメージもあり、違和感を持つ人も多いようです。会社に勤めている人であれば、男女関係なく「会社員」という名称が浮かびますし、呼び方を男女で分けること自体が現代にそぐわなくなっているかもしれません。

性差のない、ジェンダーニュートラルな言葉。言葉そのものや言葉の使い方を考えることは、差別のない世界をつくる入口とも言え、またクリエイティブな行為でもあります。あなたは、「働く女性」を何と呼びますか？

「良かれと思って言葉」を大募集！！！！

- ・「女性だから」「男性だから」と言われて嫌だった言葉
 - ・「女性なのに」「男性なのに」と言われてモヤツとした言葉
 - ・言われて戸惑ったり違和感をもった言葉
 - ・言って「失敗した！！」と思った言葉
 - ・男女共同参画社会推進の妨げになっていると感じる言葉
- など

ご応募いただきました「良かれと思って言葉」は男女共同参画情報コーナーで発表！
※全ての言葉を発表できるものではありません。ご了承ください。

詳細は、あいパル HP、あいパルミニコミ誌「PALDISE」や男女共同参画情報コーナー、SNS 等にて。

「良かれと思って言葉」について考えることをきっかけにして、「誰もがそれぞれの違いや多様な生き方を尊重し、個性と能力を十分に発揮できる社会の実現」を目指してみませんか？ぜひご参加ください。



あいパル HP
男女共同参画特集ページ